

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習	
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習	
		開講	単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	80
使用教材		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。		
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。		
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40% (ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者		
関連資格			
関連科目	就職対策Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	緒志 淳美 他3名	実務経験	○
実務内容	国内化粧品メーカーにてビューティーカウンセラー業務担当		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習
7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	就職ガイドブック		出版社	自校作成	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている。				
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大村 瑞紀	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	・就職指導を行う目的を理解 ・就職決定までの目標設定
2	言葉遣い	・言葉遣い、敬語の使い方
3	自己分析	・自分が希望する就職先、職務内容について再確認する ・希望に向けての課題を理解する
4	自己PR	・自己PR内容の見直し、ブラッシュアップ
5	書類選考対策	・就職活動に必要な書類（履歴書やエントリーシート等）のパターンと対策
6	面接対策	・面接対策、オンライン形式・対面形式それぞれのポイント
7	ビジネスマナー	・ビジネスメール ・電話のマナー
8	一般常識	・一般常識対策

9	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
10	商品プレゼン	・おすすめ商品をピックアップし、商品紹介(プレゼン)内容を考える
11	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
12	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
13	テスト	・前期末試験
14	SNSについて	・SNSのマナー ・有効的な使用方法
15	まとめ	・前期総まとめ
16	前期の振り返り	・前期の振り返り
17	働く意義	・何のために働くか ・働く上で大切なこと
18	人間力	・社会人として求められていること ・社会人と学生との違い
19	人間力	・愛される人材とは ・感謝の気持ち
20	自分の理想像	・自分の理想とする社会人像とは
21	目標設定	・2年生後期～5年後の目標設定
22	接客マナー	・社会人として備えるべきマナーについて
23	電話対応	・電話対応の方法
24	来客対応	・来客時の対応方法
25	一般常識	・就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
26	ケースワーク①	・事例を上げ、原因と対応について考える
27	ケースワーク②	・事例を上げ、原因と対応について考える
28	テスト	・後期末試験
29	後期まとめ	・後期のまとめ、振り返り
30	総まとめ	・2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））長襦袢（半えり付）・和装スリッパ（下着）・クリップ（2点セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級（6月強制受験 免許強制） ・着付け2級（12月強制受験 免許任意）を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格☑				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋三江 他1名	実務経験		○	
実務内容	着付け講師として店舗や学校での着付け指導を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）

7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる (検定対策)
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる (検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け3級検定 (小紋の着付と蝶結び20分) を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語 (プリント①②) について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方 (自装) と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着 (小紋) 着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着 (小紋) 着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付 (仕上げ) と総まとめを行う
16	振袖の着せ方 1	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入、 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方 2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方 3	ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
20	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
21	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
22	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
23	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
24	検定試験	きもの着付け2級検定試験 (振袖にふくら雀30分) を実施する
25	座学 2	着物のTPO (プリント③④) について
26	小紋の着方 1	小紋の着方 (自装) を学び実践する
27	小紋の着方 2	名古屋帯のお太鼓結び (自装の仕上げ)、着物の立居振舞を学び実践する
28	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
30	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅠ、ブライダルメイク、特殊メイク、アーティストメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石黒 すみれ	実務経験	○		
実務内容	関東サロンにて美容師としてお客様のカットやヘアアレンジを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)
7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)

9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う
16	新日本髪①	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
17	新日本髪②	新日本髪(練習)
18	新日本髪③	新日本髪(練習)
19	新日本髪④	新日本髪(テスト・振り返り)
20	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
21	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
22	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
23	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
24	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
25	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
26	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
27	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
28	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
29	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス、問題集 化粧品検定協会テキスト・問題集		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	緒志 淳美	実務経験	○		
実務内容	大手化粧品メーカーにてお客様の肌診断や化粧品販売を担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	試験当日のシミュレーション(小項目)
7	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	1年次復習

8	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)
9	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)
10	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)
11	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)
12	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
13	化粧品検定級対策⑦ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
14	化粧品検定級対策⑧ 2級検定受験	化粧品検定2級受験
15	総合授業	まとめを行う
16	・化粧品と法律(医薬部外品等) ・化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
17	製品特徴・アプローチ法 (クレンジング、洗顔、化粧水、美容液、乳液・クリーム)	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
18	製品特徴・アプローチ法 (スクラブ、パック、オイル、マッサージ、ボディケア)	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
19	製品特徴・アプローチ法 (スクラブ、パック、オイル、マッサージ、ボディケア)	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
20	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認(聴くテクニック)
21	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認(聴くテクニック)
22	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
23	肌の仕組みテスト/スキンケア 乾燥の原因、スキンケアによる対処法	肌の仕組み復習 乾燥の原因と乾燥が及ぼすトラブル・乾燥に効果的なスキンケアレクチャー ・改善に効果的な食べ物や生活習慣アドバイス
24	スキンケア 紫外線について スクラブ・日焼け止め研究 美白について	・紫外線が及ぼす肌トラブル ・各ブランドから出ているスクラブ、日焼け止めの研究
25	スキンケア(ニキビ) ニキビができる原因 スキンケアによる対処法	・ニキビができる原因追求 ・スキンケアによる対処法をレクチャー ・改善に効果的な食べ物や生活習慣アドバイス
26	スキンケア(クマ・くすみ) クマができる原因 スキンケアによる対処法	・クマができる原因追求 ・スキンケア法による対処法をレクチャー ・生活習慣アドバイス・接客用語を使用しロープレ
27	スキンケア(シワ・たるみ) 老化について アンチエイジング化粧品の研究	・シワ、たるみの原因追求 ・スキンケアによる対処法をレクチャー
28	総復習	学生の学びが弱い内容を強化する
29	テスト	テスト、振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス、問題集 化粧品検定協会テキスト・問題集		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるようになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川嶋 里奈	実務経験	○		
実務内容	大手化粧品メーカーにてお客様の肌診断や化粧品販売を担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定対策⑨	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
10	アドヴァンス検定対策⑩	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
11	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション
12	製品特徴・アプローチ法（クレンジング、洗顔、化粧水、美容液、乳液・クリーム）	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
13	製品特徴・アプローチ法（スクラブ、パック、オイル、マッサージ、ボディケア）	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
14	テスト	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う
16	・化粧品と法律（医薬部外品等） ・化粧品の定義 ・成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
17	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
18	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
19	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
20	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
21	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
22	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
23	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
24	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
25	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて⑤	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングシートの使用
26	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて⑥	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 オンラインツールを使用したカウンセリング実践

27	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて⑦	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 オンラインツールを使用したカウンセリング実践
28	総復習①	学生の学びが弱い内容を強化する
29	総復習Ⅱ	テスト、振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク			
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90	
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社			

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 由美子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャン勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識・コラージュ 作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)
6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論
7	洋装⑤	テスト、振り返り
8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク

9	ゲストメイク②	お母様 黒留袖メイク
10	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
11	和装②	白無垢化粧の練習を入れる
12	和装③	色打掛・引き振袖(黒)
13	和装④	白無垢化粧
14	和装⑤	白無垢化粧
15	総合授業	まとめを行う
16	白ドレス～色ドレス～までの流れ	*ドレス補正ポイントメイキング&インナーについて(導入、実践)
17	お色直しの基本知識	和装 → 洋装 → 一連の流れの実習 (導入、実践)
18	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)
19	着物ヘアメイク①	着物スタイル
20	着物ヘアメイク②	理論・着物別・年齢別のメイク
21	成人式ヘアメイク①	理論・着物別・年齢別のメイク 基本知識とテクニック
22	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
23	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク
24	テスト	テスト、振り返り
25	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
26	卒業制作②	卒業制作(実践)
27	卒業制作③	卒業制作(実践)
28	卒業制作④	卒業制作
29	卒業制作⑤	卒業制作(実践、振り返り)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイク		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイク		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	3
時間数					90
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ポディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安藤 美穂	実務経験	○		
実務内容	国内化粧品メーカー美容部員教育業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク①	舞台メイク導入
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
7	舞台メイク④	テスト
8	ボディアート	ボディアート等の実践

9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う
16	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
17	アニマルメイク②	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
18	アニマルメイク③	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
19	アニマルメイク④	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
20	日本の伝統メイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
21	日本の伝統メイク②	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
22	日本の伝統メイク③	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
23	日本の伝統メイク④	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
24	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
25	卒業制作②	卒業制作(実践)
26	卒業制作③	卒業制作(実践)
27	卒業制作④	卒業制作(実践)
28	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
29	卒業制作⑥	卒業制作(実践、振り返り)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイク		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	メイク道具一式 スマホアプリ(VOGUE/RUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジII、サロンワーク(メイク)、フォト&ファッション				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小林 明香	実務経験	○		
実務内容	仙台市内の美容室に勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク③	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク④	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
7	ショーメイク⑤	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)

8	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク③	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク④	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
12	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う
16	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
17	年代別のメイク①	年代別 20、30、40
18	年代別のメイク②	年代別 50
19	年代別のメイク③	年代別 60
20	年代別のメイク④	年代別 70、80
21	年代別のメイク⑤	年代別 90、2000
22	年代別のメイク⑥	年代別の技術まとめフルメイクテスト、振り返り
23	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
24	卒業制作②	卒業制作(実践)
25	卒業制作③	卒業制作(実践)
26	卒業制作④	卒業制作(実践)
27	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
28	卒業制作⑥	卒業制作(実践)
29	卒業制作⑦	卒業制作(実践、振り返り)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッション		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッション		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数					30
使用教材	【フォト】 カメラ機材(※各校にて可能な範囲) 【ファッション】 スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート…ファイル			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】 写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によつての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】 ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岩瀬 理奈	実務経験	○		
実務内容	フリーカメラマンとして、モデル撮影などで活躍				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り

8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせてテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う
16	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
17	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
18	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
19	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
20	コレクションについて②	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
21	コレクションについて③	オートクチュール
22	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
23	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
24	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
25	トレンドについて②	トレンド研究を行う
26	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
27	テスト	テスト
28	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画 (コンセプトシートの作成)
29	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画 (コンセプトシートの作成)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク(メイク)		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク(メイク)		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡ、ビューティーカウンセラーメイクⅠⅡ、ブライダルメイク、特殊メイク、アーティストメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 由美子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャン業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を行う
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	

施術時間・道具の管理・接客対応・言葉遣い

8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う
16	サロンワーク技術練習	
17	サロンワーク技術練習	
18	サロンワーク技術練習	
19	サロンワーク技術練習	
20	サロンワーク技術練習	
21	サロンワーク技術練習	
22	サロンワーク技術練習	
23	サロンワーク技術練習	
24	サロンワーク技術練習	
25	サロンワーク技術練習	
26	サロンワーク技術練習	
27	サロンワーク技術練習・テスト	
28	サロンワーク技術練習	
29	振り返り	
30	総合授業	総まとめを行う

基本的には外部の方法をお客様として招き、
サロンを運営する

サロンのメニューや集客方法、フライヤー作成

総まとめを行う

様々なシチュエーションや施術内容を設定し、
サロンワークとしての技術・接客を行う

施術時間・道具の管理・接客対応・言葉遣い・
イレギュラーな対応方法など様々な視点からチェックしていく

基本的には外部の方法をお客様として招き、
サロンを運営することを目的する
(授業の空き教員や姉妹校教員にもお客様としてモデルを
お願いしたり相モデルを設定して工夫して授業を進める)

サロンのメニューや集客方法、フライヤー作成など
すべての運営を生徒たちに考えて学ばせる

接客など生徒の理解を確認するために、テストも実施

総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク（エステ）		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワーク（エステ）		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ AEAテキスト（サロンマネジメント） タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
授業のねらい	① マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①実技試験60%/授業態度・提出物など20% ②レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岩井容子 他1名	実務経験		○	
実務内容	仙台市内トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャン業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等) 広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成

3	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
4	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
5	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
14	振り返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめを行う

16		
17		
18		
19		
20		
21		
22	サロンワーク	サロン実習
23		適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ/AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準(前期) AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準(後期)				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャル(上級)Ⅱ・プロボディⅡ・サロンワーク(エステ)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岩井容子	実務経験		○	
実務内容	仙台市内トータルビューティーサロンにてビューティーカウンセラー、エステティシャン業務担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル+ボディ)	記入方法について
3	ホームケアアドバイスフェイシャル	運動学・栄養学・食事指導
4	ホームケアアドバイスボディ	運動学・栄養学・食事指導
5	ストレスが体に及ぼす影響	ストレスとは 脳の関係・内分泌系の関わり ストレスと免疫系・病気の関わり 現代病について ストレスとの付き合い方
6	心と肥満の関係	肥満の心理側面・現代社会における肥満について 肥満の心理状態
7	体のバランス機構	環境適応のメカニズム 自律神経による体内調節の仕組み
8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問

9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートのフェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
13	コンサルテーションシートのボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
15	総合授業	総まとめを行う
16	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	Ajesthe上級試験筆記範囲 コンサルテーション
17	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
18	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
19	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
20	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
21	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
22	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
23	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
24	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
25	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
26	筆記試験	筆記試験模試
27		Ajesthe上級試験範囲 コンサルテーション
28	Ajeathe上級実技口頭試問対策 実技試験範囲	
29		
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメント		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメント		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー・クリエヌ化粧品 セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ 東洋医学・フットケア、リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー、タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	平塚 愛里	実務経験	○		
実務内容	大手サロンにてエステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	トリートメント オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価
2	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用 タラソパック デモストレーション ソルトピーリング/海泥パック/海藻パックなど
3		
4	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について 理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
5		
6	総合まとめ	筆記テスト（タラソセラピー、リンパドレナージュ）

7	AEA上級	
8	エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
9		
10	オリジナル・スエディッシュ マッサージ導入	オリジナル・スエディッシュマッサージ導入
11		オリジナル・スエディッシュマッサージ導入
12	スエディッシュマッサージ練習	
13		実技テスト（スウェディッシュマッサージ）
14		ペディキュア デモストレーション 練習
15	ペディキュア	ペディキュア 練習 予備日
16		
17	ペデキュア	ペディキュア 練習
18	東洋医学カッピング リフレクソロジー	理論/東洋医学（西洋医学との違い）（経絡・経穴） 基本手技/カッピング
19	ポドロジー	理論/リフレクソロジー ・ポドロジー 基本手技/東洋式・西洋式
20		
21	ストーンセラピー	理論/ストーンセラピー 基本手技/ストーンセラピー
22		
23	代替療法	インド伝統医学の考え方と療法（理論）
24	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダマッサージ（実技） ※実技は国際専攻の内容を参考に行う
25		
26	AJESTE認定上級	
27	エステティシャン試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
28		
29	トリートメント総合	トリートメント総合 成績評価④筆記テスト（リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダ）
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））長襦袢（半えり付）・和装スリッパ（下着）・クリップ（2点セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・基礎技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、着付け3級を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格☑				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する

4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	実技の仕上げと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論（シデスコ）Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティック総論（シデスコ）Ⅰ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ/AEAテキスト（各項目） シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学・運動学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCO国際ショナル合格基準 (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCO国際ショナル				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル・トリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	総論オリエンテーション 皮膚の構造・生理機能	シデスコ本試験(筆記)及びAEA筆記試験(任意)の概要説明 総論授業の年間スケジュール等確認 ※皮膚学・1年次復習(皮膚構造/皮膚の働き)
2	肌質・皮膚トラブル	肌別トラブル(脂性、乾性、敏感など) 皮膚トラブル(ニキビ、シミ、しわ、たるみなど) ※肌のPH値、水分量、皮脂量の見極め方 ※皮膚トラブルの特徴と原因
3	アレルギー理論・その他の皮膚疾患	皮膚トラブル(アレルギー性皮膚疾患、アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎など) ※アレルギーの型及び理論的解釈 ※アレルギー疾患以外の皮膚疾患(原因、症状)の理解

4	救急法	・サロンでの救急法 ・心肺蘇生法と止血法 ・主な症状の怪我と病氣 ・主な事故・怪我の手当て
5	電気理論・人体と電気 エステティック機器の種類と原理	電気の基礎知識 原子とは/イオン結合/電流と電子/動電気と静電気/電流の3大作用/直流と交流 電気信号伝達メカニズム・エステティック機器の種類・原理
6	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	化粧品と薬機法のテストを実施する ※皮膚学、救急法、電気学、化粧品学の確認試験（AEA問題集より抜粋）
7	栄養学復習	栄養学の基礎知識/肌トラブル・身体トラブルと栄養の関係/フィトケミカル
8	運動生理学復習	運動の必要性/代謝と運動/運動処方/運動の実際(実演)
9	人体のあらまし細胞・組織・器官	人体の成り立ち・名称、主な器官の位置・大きさ 細胞の構造と働き、細胞の分裂、組織の分類・器官・器官系
10	循環器系	循環器系(心臓血管系・リンパ系)、血液成分
11	内分泌系	内分泌器官それぞれのホルモンの種類・作用
12	AEA上級認定エステティシャン 演習問題	テストを実施する
13	神経系	中枢神経系と末梢神経系
14	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・美容脱毛学概論 ・脱毛法の分類と各特徴、美容電気脱毛法 ・皮膚組織と毛、皮膚組織の断面図・毛の構造・毛の特色・毛包の構造・発毛のしくみと毛周期 ・注意すべき皮膚疾患に対する知識と対処法・体質への配慮
15	総合授業	総まとめ ※技術理論と皮膚学、生理学、機器学、栄養学、運動学などの繋がりを確認させる ※口頭試問対策及び理解度の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論（シデスコ）Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティック総論（シデスコ）Ⅱ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目） シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCO国際ショナル合格基準 (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCO国際ショナル				
関連科目	フェイシャルマニキュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル・トリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	筋系・骨格系	筋肉の種類と特徴/骨の種類と構造/部位ごとの名称と働き

2	CIDESCO 筆記試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・その他生理解剖学補足 ・ホメオスタシスと生命活動含む CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
3		
4		
5		
6		<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学 ・最新美容技術 ・ガイドライン（筆記試験内容の補足部分） CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
7		
8		
9		
10		
10		
11	筆記試験	筆記試験を行う
12	CIDESCO 筆記試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドライン ・CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果フォロー講義 筆記試験を行う
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	フェイシャルマニピレーション		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルマニピレーション		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ/AEAテキスト10冊セット クリエーン化粧品セット・タオル類・消耗品類 筆記用具・フェイシャル化粧品・ネイル・メイクアップ教材一式		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO国際ナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	フェイシャルマニピレーション オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り			
2	フェイシャル用化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）			
3	オリジナルマッサージ スエデッシュマッサージ導入	オリジナルマッサージ デモンストレーション			
4	フェイシャルカウンセリング	クライアントに応じコンサルテーションシートを仕上げる			
5	メイクアップ	実技試験対策・ 用具類の衛生について			
6	マッサージ-メイクアップ	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク練習 成績評価①			

7	AEA上級エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 ・クレンジング～カウンセリング～シート記入～パック選択～マッサージ～仕上げ⇒アフター
8	ネイル	実技試験対策・ 用具類の衛生について
9	マッサージ-マスク-ネイル	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・ネイル練習
10	ディープクレンジング	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク・ネイル 成績評価②
11	マッサージ-ネイル-メイク	
12	ティンティング・ツイージング	デモンストレーション
13		練習
14	パディキュア	デモンストレーション 実技試験対策・用具類の衛生について
15	総合授業	総まとめ授業を行う
16	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・香粧品学・機器	・実技試験を想定しての流れの説明 クレンジング・カウンセリング（肌分析）・ティンティング・ツイージング ディープクレンジング・電気トリートメント・マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク・アフターカウンセリング ※肌タイプ別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
17		
18	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
19	アフターカウンセリング	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ツイージング ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
20	フェイシャルテクニック総合	
21	クライアント実習	
22	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う
23	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅠ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキストエステティックカウンセリング・エステ ティック電気学、機器学 クリエーナ化粧品セット・タオル類・消耗品類 筆記用具・フェイシャル化粧品・ネイル・メイクアップ教 材一式		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する				
到達目標	CIDESCO国際認定資格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO国際認定資格				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャルスキンケア オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1年の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォレーゼ・デイスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション
3		
4	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション
5		

6	フェイシャル電気機器まとめ 直流・交流電流	筆記試験を行う
7	フェイシャル電気機器	バター デープ機器選択 実技理論・デモンストレーション ※運動教科 総論→解剖生理学 ポディ→サクション)
8	バター	
9	フェイシャル電気機器	高周波 (直接法・間接法・閃光法) 実技理論・デモンストレーション
10	高周波	
11	フェイシャル電気機器まとめ バター・高周波	筆記試験を行う
12	電気トリートメント 選択方法復習	クライアントに応じた機器の選択 禁忌事項・操作方法の確認
13	(カウンセリング含) (クライアント実習)	
14	(相モデル)	
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキストエステティックカウンセリング・エステティック電気学、機器学 クリエータ化粧品セット・タオル類・消耗品類 筆記用具・フェイシャル化粧品・ネイル・メイクアップ教材一式		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCO国際ナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	口答質問対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	フェイシャルテクニック総合	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント
6	クライアント実習	マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク アフターカウンセリング

7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う
8	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総合実技試験の復習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディベーシック		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディベーシック		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科 トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCO国際ナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディベーシック オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り

2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング
3	オリジナル・スエディッシュマッサージ導入	オリジナル・スエディッシュマッサージ導入
4	ボディ分析 スエディッシュマッサージ練習	マッサージ練習
5		
6		スウェディッシュマッサージ
7	脱毛 Wax (Warm)	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果 脱毛理論/成分/注意事項・禁忌事項 ワックス実技 (腕・足) (デモスト・実技)
8		
9	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
10		
11	コンサルテーションシート記入 (冷え、貧血、低血圧)	ボディトラブルの理論的解説 (原因・症状・改善策など) +スエディッシュマッサージ練習 運動生理について理論的解説 コンサルシートを仕上げる
12	コンサルテーションシート記入 (むくみ、低体温)	
13	コンサルテーションシート記入 (セルライト、脂肪)	
14	脱毛 Wax (Hot)	ワックス実技 (脇・Vライン) (デモスト・実技)
15	総合授業	マッサージ練習の復習
16	脱毛復習	Wax (Warm/Hot)
17	通し練習	スウェディッシュマッサージ復習～脱毛まで
18	総合実技試験 (判定試験1回目)	本番の試験同様の流れで行う
19	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づきアドバイス 理論的解説
20	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
21		
22	総合実技試験 (判定試験2回目)	本番の試験同様の流れで行う

23		
24		カウンセリングシートの記入法・お通し
25		カウンセリング・採寸・機器選択
26	ボディテクニック総合	ボディマッサージ
27	クライアント実習	アフターカウンセリング … 一連の流れで練習
28		wax脱毛
29		※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
30	総合授業	総合授業を行う

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ボディテクニカルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカルⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科 トータルビューティー科	1	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO国際ナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	ボディテクニカル オリエンテーション	履修目標について前期の振り返り ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等）			
2	プレトリートメント導入	化粧品、赤外線、ヒートマットなどを用いて行うプレトリートメント(理論、実技)			
3					
4	ボディ電気機器 直流電流	ガルバニック 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒イオン・ディスインクラステーション			
5					
6	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒低周波			
7					

8	ボディ電気機器復習	実技テストを実施
9	ボディ電気機器	サクション 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法
10	サクション	※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒パター
11	ボディ電気機器	G5 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法
12	G5	※連動教科：総論→電気学
13	ボディ電気機器復習	実技試験を実施
14	プレトリートメント・電気トリートメント 選択方法復習（カウンセリング含クライアント 実習）	クライアントに応じた機器の選択 禁忌事項・操作方法の確認
15	総合授業	機器操作の復習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディテクニカルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科 トータルビューティー科		60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエータ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO国際ナショナル				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体質・トラブル別の選択	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2	生理学・化粧品学・機器	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	ボディテクニック総合	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択
6	クライアント実習	ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う

8	ボディテクニック総合 クライアント実習	<p>カウンセリングシートの記入法・お通し</p> <p>カウンセリング・採寸・機器選択</p> <p>ボディマッサージ</p> <p>アフターカウンセリング … 一連の流れで練習</p> <p>※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。</p>
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試60%/成績評価2回20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城知子 他1名	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、お客様の施術を行う、またスタッフの資格取得の講習、指導を担当している				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディテクニカル オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について
3		低周波
4	ボディ電気機器 交流電流	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
5		

6	ボディ電気機器	サクシオン
7	サクシオン	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 模擬試験
9		
10		
11	ボディ電気機器	G5
12	G5	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
13	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習
14		ボディ機器・機器 総合復習
15	総合授業	総まとめを行う
16	脱毛 Wax (Warm)	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果 脱毛理論/成分/注意事項・禁忌事項 ワックス実技 (腕・足) (デモスト・実技) 脱毛試験
17		
18		
19		
20	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
21	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
22		
23		
24		

25		
26	AJESTE上級 エステティシャン	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 模擬試験
27	試験対策	
28		
29	ボディテクニック総合	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャル（上級）Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャル（上級）Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野友美	実務経験		○	
実務内容	トータルサロン、外資系ホテルサロン、メディカルサロンにてエステティシャンを経験。シデスコ国際ライセンス、アロマセラピー インストラクター、ハーブコーディネーターなどの資格を生かし、現役プライベートサロンオーナーでもある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅡ オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	フェイシャル電気機器	イオントフォーレーゼ・ディスインクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科
4	直流電流	（総論→電気学 ボディ→ガルバニック）

5	AEA上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
6	エステティシャン 試験対策	
7		
8	AEA模擬試験	模擬試験を行う
9	フェイシャル電気機器	バター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→解剖生理学 ポディー→サクション)
10	サクション	
11	フェイシャル電気機器	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
12	高周波	
13	オリジナルマッサージ スエッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
14	フェイシャル総合授業	試験を行う
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャル（上級）Ⅲ		
必修選択	選択	（学則表記）	プロフェイシャル（上級）Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ/Ⅱ 理論編Ⅲ・AEAテキスト10冊セット クリエーン化粧品セット・タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル化粧品 ネイル・メイクアップ教材一式		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野友美	実務経験	○		
実務内容	トータルサロン、外資系ホテルサロン、メディカルサロンにてエステティシャンを経験。シデスコ国際ライセンス、アロマセラピーインストラクター、ハーブコーディネーターなどの資格を生かし、現役プライベートサロンオーナーでもある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	【3コマ】カウンセリングシート作成・選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	【3コマ】口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト

4	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
5	スエッシュュマッサージ練習	デモンストレーション・実践
6	AJESTHE上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
7	エステティシャン 試験対策	
8		
9	模擬試験	模擬試験を行う
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11		ディープクレンジング・電気トリートメント
12		マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル
13		アフターカウンセリング
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論（上級）		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティック総論（上級）		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ/AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準(前期) AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準(後期)				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・トリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城知子	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、エステティシャンとしてお客様の施術を行う、またスタッフの資格取得の講習、指導を担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類 ・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患

7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち
8		
9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） 消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官のの構造と働き）
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定 演習問題	AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14		
15	筆記試験	模擬試験
16	前期の振り返り	総まとめ・前期の振り返り
17	脱毛学	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
18	※プロボディⅡにて実技導入	・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
19	認定上級E筆記対策 (内ホメオスタシス6時間) 1年・2年次の不足の補填	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
20		
21		
22		
23		
24	筆記試験	AJESTHE上級 模試
25	認定上級E 実技対策	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 ケースワーク
26		
27		
28		
29		
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャル（ヒーリング）		
必修選択	選択	（学則表記）	プロフェイシャル（ヒーリング）		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーン化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高松 真紀子	実務経験	○		
実務内容	大手サロンにてエステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅡ オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイドランス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
4	スエッシュマッサージ導入	デモンストレーション
5	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォレーゼ・デイスインクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※運動教科 総論→電気学 ボディー→ガルバニック

6	フェイシャル電気機器	低周波 実技理論・デモンストレーション含む
7	交流電流	※連動教科 総論→電気学 ボディ→低周波)
8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 ・模擬試験
9		
10	フェイシャル電気機器	バター 実技理論・デモンストレーション含む
11	サクション	※連動教科 総論→解剖生理学 ボディ→サクション)
12	フェイシャル電気機器	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
13	高周波	
14	フェイシャル機器総合	機器総合確認
15	フェイシャル機器総合授業	機器総合確認の試験を行う
16	エステ研修	研修を行う
17		研修を行う
18	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・香粧品学・機器・ディープ クレンジング	カウンセリングシート作成（選択理由・目的・効果） 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法
19		ディープクレンジングの肌別選択・目的
20	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
21	技術力確認試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 ・模擬試験
22		
23		
24		
25	フェイシャルテクニック総合	クレンジング・カウンセリング（肌分析）
26		ディープクレンジング・電気トリートメント
27		マッサージ・マスク・仕上げ
28		アフターカウンセリング
29	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習
30	総合授業	総まとめの復習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピー総論		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピー総論		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1級 A E A テキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合 (H専攻対応) ・ スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・ 心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマテラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマテラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%(後期は10%) /授業態度、提出物など20%(後期は10%) / (後期) アロマ検定1級合格20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野友美	実務経験	○		
実務内容	トータルサロン、外資系ホテルサロン、メディカルサロンなどを経験。シデスコ国際ライセンス、アロマテラピーインストラクター、ハーブコーディネーターなどの資格を生かし、現役プライベートサロンオーナーでもある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	前期の振り返り
2	1. スキンタッチと効果 ※カウンセリングと連携	感覚器としての皮膚・スキンタッチの重要性 エステティックマッサージとその心理的効果
3	精油紹介① (ホメオスタシス)	トリートメント用 ブレンドオイル作り
4	2. 脳の誕生と進化・機能 (ホメオスタシス)	ヒトの脳・脳と心
5	精油紹介② (ホメオスタシス)	シアバタークリーム作り

6	3. 脳神経の構造と働き ※カウンセリングと連携	脳の基本構造 各部の役割 (大脳皮質・間脳脳幹・小脳)	
7		脊髓の構造と働き 末梢神経の種類・神経の伝達経路	
8	4. ホメオスタシス ※カウンセリングと連携	外部環境への適応 ホメオスタシスの三角形の各メカニズム	
9	精油紹介③ (ホメオスタシス)	ハンガリアンウォーター・化粧水作り	
10	5. ストレス ※カウンセリングと連携	ストレスとその正体・ストレスとホメオスタシス・病気 ストレスと上手に付き合う方法・職場とストレス	
11	精油紹介④ (ホメオスタシス)	手作りせっけん・MPソープ	
12	6. 心と肥満のかかわり ※カウンセリングと連携	肥満の要因・思春期の肥満・女性の肥満	
13	アロマ1級範囲 復習 ①	アロマセラピーと環境・植物が育んだ生命・身のまわりにある植物と香り アロマセラピーの源流・精油が心身に作用する経路	
14	アロマ1級範囲 復習 ②	植物と共に生きてきた私たちの歴史/いま地球が抱えるさまざまな難問1人ひとりができることから～未来の子どもたちのため・模擬試験	
15	総合授業	総まとめを行う	
16	エステ研修	エステ研修	
17		エステ研修	
18	アロマ1級試験復習	模擬試験を行う	
19	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	ウスベニアオイ	
20		エキナセア	
21		エルダーフラワー	
22	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	セントジョワーズワート ハーブ以外の材料	
23		ネットル・安全に使用するために メディカルハーブの効果と仕組み筆記試験	
24		・ダンディライオン・ラズベリールーフ・ジャーマンカモミール/パッションフラワー アトピー性皮膚炎・湿疹・不安・緊張	
25		・リンデン ・ハーブを利用するための様々な方法 ハーブを利用するための様々な方法(湿布)・花粉症・肩こり・腰痛(温湿布)	
26		・ジャーマンカモミール・(復習)・ハーブを利用するための様々な方法(チンキ)/しみ・色素沈着の予防 ・ハイビスカス/マテ ・スポーツ前の集中力と持続力のアップ	
27		マルベリー/ローズヒップ ダイエット・肌荒れ・外傷	
28		・不眠・抑うつ(リンデン)・胃の不調・ベットのケア(ペパーミント) 二日酔い(ペパーミント・ダンディライオン・ローズヒップ)	
29		風邪・インフルエンザ(エキナセア・エルダーフラワー) 目の疲れ(ウスベニアオイ・ジャーマンカモミール)	
30		総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論（ヒーリング）		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティック総論（ヒーリング）		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 A E A テキスト 心身生理学 ヒーリングテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策（H専攻対応） アロマセラピーIで学んだ知識の総復習				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる				
評価基準	筆記試験40%/小テスト20%/アロマ検定1級合格20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野友美	実務経験	○		
実務内容	トータルサロン、外資系ホテルサロン、メディカルサロンなどを経験。シデスコ国際ライセンス、アロマセラピーインストラクター、ハーブコーディネーターなどの資格を生かし、現役プライベートサロンオーナーでもある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アロマ検定対策オリエンテーション 第1章定義・第2章メカニズム まとめ	I年次 総合まとめ ・ 検定対策 オリエンテーション
2	第3章 基礎知識まとめ	I年次 総合まとめ ・ 検定対策
3	第5章,第6章 利用法まとめ	I年次 総合まとめ ・ 検定対策
4	第7章 健康学まとめ	I年次 総合まとめ ・ 検定対策
5	第8章 歴史まとめ	I年次 総合まとめ ・ 検定対策
6	第9章 環境まとめ	I年次 総合まとめ ・ 検定対策
7	第10章 法律まとめ 筆記試験	総合まとめ

8	第4章 精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト1
9	第4章 精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト2
10	第4章 精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト3
11	第4章 精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト4
12	第4章 精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト5
13	第4章 精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト6
14	筆記試験	精油プロフィールまとめ
15	総合授業	総まとめを行う
16	エステ研修	エステ研修
17		エステ研修
18	アロマ4検定筆記対策	検定練習問題
19	アロマ検定筆記対策	検定練習問題
20	東洋医学	東洋医学とは 陰陽五行説について
21		五臓六腑について・気・血・水／八綱病証・外因・内因
22	ロミロミ	ロミロミとは
23		マッサージの特徴・有益性・効果
24	フラワー・レメディ	フラワーレメディとは
25	筆記試験	筆記試験を行う
26	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダの歴史・考え方・体質判断について・食事・生活・その他 ドーシャバランスについて
27	カラーセラピー	カラーセラピーについて (効果・特徴) オーラソーマについて・カウンセリング
28		色の言語 ・ カウンセリング
29	筆記試験	色の言語 ・ 筆記試験を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピー		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ・AEAテキスト10冊セット・ヒーリングテキスト・エッセンシャルオイルセット・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ 東洋医学・フットケア、リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	エステティック総論(ヒーリング)、アロマセラピー総論、プロボディⅡ、エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南城知子	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにて、店長として勤務。現在もホテル内のエステティックサロンにて、エステティシャンとしてお客様の施術を行う、またスタッフの資格取得の講習、指導を担当している				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国際エステティック実習 オリエンテーション	2コマ：オリエンテーション 2コマ：ベディキュア デモンストレーション
2	ベディキュア リフレクソロジー	ベディキュア デモンストレーション・練習
3		リフレクソロジー反射区《理論》 手技（親指の使い方）反射位置・効果・注意点、ベディキュア 練習
4		台湾式フットマッサージ《理論》・フットケアについて 疾病・道具・フットバス・足の観察 相モデルで練習 ・ ベディキュア 練習
5		リフレクソロジー・ベディキュア
6		オリジナル・スエディッシュマッサージ導入

7		オリジナルマッサージ デモストレーション
8	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ 練習
9		オリジナルマッサージ 練習
10		オリジナルマッサージ 練習
11		ホット・コールドストーンの歴史 チャクラとは？チャクラの位置
12	ストーンセラピー (マッサージ手技はスウェディッシュ)	前操作～腰背部～下肢後面 のデモストレーション・練習
13		仰向けへのセット～下肢前面・腕・デコルテのデモストレーション・練習
14		筆記試験を行う
15	総合授業	総まとめ授業を行う
16	実習授業	スウェディッシュマッサージ
17		
18	タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用
19		タラソパック デモタラソの活用実技 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パック
20	ロミロミ アロマセラピー	ブレ・前操作・ブレンディング 背部
21		下肢背面・下肢全面・ブレンディング
22		腹部・デコルテ・頭部・ブレンディング
23		ブレンディング コンサルテーション・的確な部位のマッサージ～クロージング
24		脱毛理論(全体で6時間) 禁忌・注意事項など
25	脱毛(実技理論含む)	脱毛理論・実技・最新脱毛機器について
26	アーユルヴェーダ	背中～腕のデモストレーションと練習 背中～腕の練習
27		脚後面のデモストレーションと練習 脚後面の練習
28		上半身前面のデモストレーションと練習 上半身前面の練習
29		カウンセリング～マッサージ (体質判定・オイル選び・部位選択)
30		総合授業

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク(ネイル)Ⅱ			
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク(ネイル)Ⅱ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90	
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	①授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% ②レポート10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	中村 友恵 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとしてネイルサロン勤務。JNECネイリスト検定1級、ネイルサロン衛生管理士、sacraジェルエドゥケーター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	様々なシチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シュミレーションとして行う 施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など 様々な視点からチェックしていく
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	
11	サロンワーク技術	

12	サロンワーク技術	<p>基本的には外部の方をお客様として招き サロンを運営することを目的とするが サロンメニューやアートデザインだけではなく、 集客方法やフライヤー作成など すべての運営を生徒たちが考えていく</p> <p>Bショーの内容を授業で行い「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける</p> <p>様々なシュチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シュミレーションとして行う</p> <p>施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・クレーム処理方法など 様々な視点からチェックしていく</p> <p>基本的には外部の方をお客様として招き サロンを運営することを目的とするが</p> <p>サロンメニューやアートデザインだけではなく、 集客方法やフライヤー作成など すべての運営を生徒たちが考えていく</p>	
13	サロンワーク技術		
14	サロンワーク技術		
15	総合授業		総まとめを行う
16	前期振り返り		
17	サロンワーク技術		
18	サロンワーク技術		
19	サロンワーク技術		
20	サロンワーク技術		
21	サロンワーク技術		
22	サロンワーク技術		
23	サロンワーク技術		
24	サロンワーク技術		
25	サロンワーク技術		
26	サロンワーク技術		
27	サロンワーク技術		
28	サロンワーク技術		
29	サロンワーク技術		
30	総合授業	総まとめを行う	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ/Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	元長 美紀 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、JNA本部認定講師、sacraジェルエデュケーター、jewelryjelエデュケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次及びJNA2級の振り返りをし
2	JNA2級検定の振り返り ジェル中級について	ジェル中級に向けて

3	ジェル中級対策	ジェル中級検定に向けての 実技練習
4	ジェル中級対策	
5	ジェル中級対策	
6	ジェル中級対策	
7	1級実技対策 または ジェル中級対策	1級検定のセッティング及び流れを覚える 2級受験者も後日の受験に備え 1級検定について学ぶ
8	1級実技対策イクステンション	
9	1級検定筆記模擬試験・対策	
10	1級実技対策イクステンション 2級実技ケア(ラウンドニッパー強化)	教員だけで実技チェックするのでは なく、チェックシート等を用いて 生徒同士でチェックし自身の弱点を 克服していく
11	1級実技対策イクステンション 2級実技対策ケア	
12	1級実技対策アート 2級実技対策後半実技	
13	実技テスト	
14	筆記テスト実技対策	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	元長美紀 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、JNA本部認定講師、sacraジェルエドゥケーター、jewelryjelエドゥケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定にむけて（筆記・実技）	検定へ向けて総仕上げ
2	検定にむけて（実技）	
3	ジェル上級検定実技	ジェル上級検定について 説明と実技練習
4		

5	ジェエル検定実技 (中級または上級)	実技練習
6	ジェエル検定実技 (中級または上級)	
7	ジェエル検定実技 (中級または上級)	
8	ジェエル検定実技 (中級または上級)	
9	ジェエル検定実技 (中級または上級)	
10	ジェエル検定実技 (中級または上級)	
11	1・2級ジェエル検定振り返り 再検定に向けて(不合格者) 1・2級ジェエル検定実技	1・2級再受験者・ジェエル検定受験者 それぞれの受験検定の実技を練習
12	1・2級検定・ジェエル検定実技	
13	実技テスト	実技試験を行う
14	筆記テスト 実技練習	筆記試験を行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	元長 美紀 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、JNA本部認定講師、sacraジェルエドゥケーター、jewelryjelエドゥケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明・DVD・デモ	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC2級の復習をしJNEC1級に向けて
2	1級実技対策イクステンション	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする 2級受験者も後日の受験に備え 1級検定について学ぶ
3	JNEC1級対策	
4	JNEC1級対策	
5	JNEC1級対策	

6	1級実技対策イクステンション 2級実技対策	J NEC1級検定に向けての実技練習 リベンジ者は2級練習 必要に応じて、ジェル中級対策
7	1級実技対策イクステンション 2級実技対策	
8	1級2級実技対策 筆記テスト	
9	1級実技対策イクステンション 2級実技対策ケア (ラウンド・プッシャー・ニッパー強化)	受験級を中心に強化練習 教員だけで実技チェックするのではなく、チェックシート等を用いて生徒同士でチェックし自身の弱点を克服
10	1級実技対策委イクステンション 2級実技対策 ケア	
11	1級実技対策委イクステンション 2級実技対策 後半実技	
12	1級実技対策 アート 2級実技対策 後半実技	
13	実技テスト	実技試験を実施する
14	実技テスト	実技試験を実施する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	元長美紀 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、JNA本部認定講師、sacraジェルエデュケーター、jewelryelエデュケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定にむけて(筆記・実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	検定に向けて(実技)	
3	1級検定実技	

4	スカルプ・クリア10本		
5	スカルプチュア10本 (グラデーション)		
6	スカルプチュア10本 (グラデーション)		
7	スカルプ フレンチデモ・実技		サロンワーク対応の技術を練習する
8	スカルプ フレンチ 実技		マシンを使用する際のオフ・お直しも併せて学ぶ
9	スカルプフレンチ 実技 バーチャルフレンチ デモ		フレンチやフィルイン・フィルアウトの練習
10	スピードスカルプチュア ナチュラル (相モデル)		
11	スピードスカルプチュア ナチュラル (相モデル)		
12	サロンでの長さだし		
13	筆記試験 実技試験		2年間で学んだ実技をチェック
14	実技試験		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	元長 美紀 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、本部認定講師、sacraジェルエド्यूケーター、jewelryjelエド्यूケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 グラデーション・フレンチその他デザイン実技	グラデーション・フレンチ・シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
2	グラデーション・フレンチその他デザイン実技	
3	ジェルスカ(クリア)デモ・実技	ジェルスカ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ	
6	中級検定実技	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技	
8	中級検定実技	

9	ジェル上級説明、ジェルチップオーバーレイデモ実技	上級検定へ向けて
10	ジェルチップオーバーレイ実技(ナチュラル・フレンチ)	ジェルチップオーバーレイを学ぶ
11	ジェルアート(フラワー他)実技	アート(フラワー)の技術をマスターする
12	ジェルアート(フラワー他)実技	
13	実技テスト	
14	筆記テスト 実技練習	
15	総合授業	総まとめを行う
16	ジェルスカルプ (クリア・フレンチ)実技	上級受験者のみではなく 全員が上級検定の実技をマスターしていく
17	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ (クリア・フレンチ)実技	
18	ジェルスカルプ 実技(相モデル)	
19	上級検定実技	
20	上級検定実技	
21	上級検定実技	
22	上級検定実技	
23	デザインジェル・実技	前期にて行ったデザインにプラスして 流行のデザインなどの研究も含めて 様々なデザインを行う
24	デザインジェル・実技	
25	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン	
26	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン	
27	ジェル実技(10本)相モデル	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどの
28	ジェル実技(10本)相モデル 筆記テスト	テーマを決めて施術を行う
29	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	庄司 美千代 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、JNA本部認定講師、sacraジェルエデュケーター、jewelryjelエデュケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー	スチューデントケアの練習 (ジュニアケア含む) コンテスト用、検定モデル用リペアのやり方を学ぶ
3	ケア・カラー	
4	ケア・カラー	
5	ケア・カラー実技テスト	

6	アート	
7	アート	チップ作成によるアート (背景の描き方・ロングチップの扱い方 人物や陰影のつけ方など)
8	アート	ペイント・3D・エンボス・エア・ジェルアート タイムトライアルでのアート作成など
9	アート 作品提出	
10	スカルプチュア	
11	スカルプチュア	
12	スカルプチュア	ジュニア部門のスカルプとして ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア	
14	スカルプチュア実技テスト	
15	総合授業	総まとめを行う
16	ケア・カラー	
17	ケア・カラー	スチューデントケアの練習と共に プロケアとしてフレンチカラー メンズネイルケアの知識を学び練習も行う
18	ケア・カラー実技テスト	
19	ジェル	
20	ジェル	
21	ジェル	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の 練習として様々なデザインを作成
22	ジェル実技テスト	
23	アート	
24	アート	チップ作成によるアート(ペイント・3D・エンボス・エア)や デザインイクステンションなどコンテスト内容に順じた アートデザインのコンテスト練習 モデルまたはハンドやチップを使用してのアート
25	アート 作品提出	
26	スカルプチュア	
27	スカルプチュア	プロ部門としての練習 フレンチスカルプチュア
28	スカルプチュア	
29	スカルプチュア実技テスト	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア			
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90	
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	庄司 美千代 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとして勤務後、ネイルサロン経営、JNA本部認定講師、sacraジェルエドゥケーター、jewelryjelエドゥケーター、BLC水彩フラワー認定講師、3DAttacker公認トップインストラクター、ネイルサロン衛生管理指導員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振り返りと2級検定振り返り
2	ハンドケア（マシーン） トリートメント理論	マシーンを使用してのケア方法と トリートメントについてを学ぶ
3	フットケア（メタルプッシャー）、 トリートメント、カラー	フットケアを学ぶ キューティクルケアにおいてマシーン 及びメタルプッシャーそれぞれの使用方法をマスターし、 違いを理解する
4	フットケア（メタルプッシャー）、 トリートメント、カラー	
5	フットケア（マシーン） ・トリートメント・カラー	
6	フットケア（マシーン） ・トリートメント・カラー	

7	ハンドケア（マシーン）・ カラー	2級受験者がいる場合 検定を意識したケア・カラーを行う
8	ハンドケア（マシーン）・ カラー	
9	ケア、カラー	ラウンドの練習 2級受験者は検定練習 1級受験者は色々なカラーを使用
10	ハンドケア（マシーン） カラー	様々なポリッシュを使用してどんな色でも綺麗にカラーリングが出来る様にする（マットホワイト・パールホワイト・パール系・マットなパステル系等）テーマを決めてアートも取り入れる
11	ハンドケア（マシーン） カラー	
12	実技テスト （ハンドケア・マシーン）	実技試験を行う
13	実技テスト （ハンドケア・マシーン）	実技試験を行う
14	筆記テスト ケア・カラー	実技試験を行う
15	総合授業	総まとめを行う
16	ケア、カラー	2級受験者は検定練習 ラウンドの強化(タイムトライアル) 1級受験者はマシーンでのケアと色々なカラーを使用 どの様なカットスタイルにも対応できるようにする ※コンテスト対策としてのケアカラー練習としても可
17	ケア、カラー	
18	ケア、カラー	
19	フットケア（メタル） トリートメント・ジェル	ジェルを取り入れたフットケアを学ぶ
20	フットケア（メタル） トリートメント・ジェル	
21	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル	フットでは、マシーンによる角質除去を行う 毎回カラーは色を決めて赤以外の 乳白色・パール・フレンチ等を使用し タイムを決めて、サロンワークを意識する (グラデーション等のカラーリングも含む) テーマを決めてアートも取り入れる
22	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル	
23	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル	
24	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル	
25	フットケア（マシーン） マシーンオフ	
26	フットケア（マシーン） マシーンオフ	

27	実技試験 フットケア トリートメント・ジェル	実技試験を行う
28	実技試験 フットケア トリートメント・ジェル	実技試験を行う
29	筆記テスト ハンドケア(マシーン) トリートメント・カラー	筆記試験を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル科目全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	庄司 美千代 他1名	実務経験	○		
実務内容	サロン勤務後、サロンオーナーネイリストとして勤務、JNEC技術検定試験1級				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 検定用ペイントアート 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボス及び3Dの基本的な花やモチーフの作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
3	エンボスアート	
4	エンボスアート	
5	3Dアート基礎	
6	3Dアート応用	
7	3Dアート(検定用)	

8	エアープラシ基礎 ライン・ドット等 シート練習（組立・掃除等のメンテナ ンス）	エアープラシの基礎から応用まで （色々な吹き方及びメンテナンス方法） コンテスト作品を仕上げるコツ等を指導 作品提出
9	エアープラシ応用	
10	エアープラシ応用	
11	ミックスメディアアート	フラット・エンボス・3Dの技法を 取り入れたアート作品を作る 作品提出
12	ミックスメディアアート	
13	検定用アート	検定用アートのデザインを決めタイムを計って 作品のクオリティーを上げていく 作品提出
14	検定用アート	
15	総合授業	総まとめを行う
16	検定用アート	検定に向けての作品作り タイムを計って作品のクオリティーを上げていく 作品提出
17	検定用アート タイムトライアル	
18	検定用アート タイムトライアル	
19	デザインスカルプチュア （ラメグラ等含む） デモ・実技	
20	デザインスカルプチュア	デザインスカルプチュアを学び習得する
21	デザインスカルプチュア	
22	作品制作	
23	作品制作	テーマや技法(エアー・フラットなど)を 決めて作品を制作する オーダーチップのサイズ合わせ 作品提出
24	作品制作	
25	タイムトライアル	時間内での作品作り （サロンワークに対応するアート）

26	卒業制作	
27	卒業制作	作品作り総まとめ 全ての技術を用いて作品を仕上げる 想像力を高めオリジナル性を出す
28	卒業制作	2年間の総復習 作品提出
29	卒業制作	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2点セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・応用技術を身につける				
到達目標	着付けに関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、着付け2級(6月強制受験 免許任意)を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般財団法人京都市きもの伝承文化協会 きもの着付け資格☑				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標についての説明、考査票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	長襦袢の着せ方、振袖の着せ方を学び実践する
3	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方4	ふくら雀の結び方について学び実践する
5	振袖の着せ方5	振袖着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖着付を仕上げる(検定対策)
7	振袖の着せ方7	振袖着付を仕上げる(検定対策)

8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する
10	座学	着物のTPO（7'リト③④）を学ぶ
11	浴衣の着方	浴衣の着方（自装）と半幅帯バリエーションを学び実践する
12	留袖の着せ方1	留袖の着せ方を学び実践する
13	留袖の着せ方2	留袖の着せ方、二重太鼓の結び方を学び実践する
14	留袖の着せ方3	留袖の着せ方、二重太鼓を仕上げる
15	総合学習	留袖の着せ方（仕上げ）と総まとめを行う
16	自装（名古屋帯）1	小紋の着方（準備・支度・コーディネート）を学び実践する
17	自装（名古屋帯）2	小紋の着方を学び実践する
18	自装（名古屋帯）3	小紋の着方を学び実践する
19	自装（名古屋帯）4	お太鼓結びを学び実践する
20	自装（名古屋帯）5	お太鼓結びを学び実践する
21	自装（名古屋帯）6	小紋にお太鼓結びを仕上げる
22	自装（名古屋帯）7	小紋にお太鼓結びを仕上げる
23	実技テスト	自装の確認テスト
24	自装（袋帯）1	二重太鼓の結び方を学び実践する
25	自装（袋帯）2	訪問着に二重太鼓を仕上げる
26	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
27	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
28	花嫁着装体験	花嫁着装体験
29	卒業制作	卒業制作の準備・練習
30	総合学習	総まとめとして、卒業制作を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ウォーキングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ウォーキングⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデルとしての意識を持ち、今の自分（体型や個性）を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながらレベルを上げる。				
到達目標	モデルに必要な基礎筋肉や中心軸を鍛えながら骨格を整え全身を引き締め、ウォーキングの基礎を身につける。				
評価基準	テスト：70% 小テスト：15% 授業態度：15%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウォーキング総復習	1年次の復習、キャットウォーキング（椅子使用）
2	ハイヒールウォーキング基本	基礎、フルターン、ハーフトーン
3	ハイヒールウォーキング基本	基礎とターンのバリエーション
4	ハイヒールウォーキング基本	ハーフトーンを入れた基本の一往復
5	ブライダルウォーキング	手の動き
6	ブライダルウォーキング	S字、涙字の動き
7	ストールの使い方	ストール2種類の使いこなし
8	ストールの使い方	ストール2種類の使いこなし

9	小テスト	今までどのくらい理解し出来るかの確認
10	ブライダルウォーキング	ドレス着用
11	ブライダルウォーキング	ドレス着用
12	ショーの基本	出はけ（3種類）含めた一往復、ショーの動き
13	ショーの基本	出はけ（3種類）含めたショー1、5の動き
14	テスト	プリント配布
15	総合学習	プリント配布
16	ウォーキング総復習	前期の復習
17	ファッションショー構成	ペアのフォーメーション 1、5レッスン
18	ファッションショー構成	ペアのフォーメーション 横振り L字の動き
19	ファッションショー構成	ポージング応用
20	ファッションショー構成	3～4人のフォーメーション
21	今までの復習	個人チェック
22	オーディション対策	オーディションでの自分の見せ方、リズムング
23	オーディション対策	実際の動き、個人チェック
24	ジャケットの使い方	ジャケットの扱い方のバリエーション
25	ジャケットの使い方	ジャケットの使いこなしとフォーメーション
26	ジャケットの使い方	個人チェック、動画チェック
27	今までの復習	ファッションショー構成とジャケット使の使い方
28	テスト課題にもとづき授業	プリント配布
29	テスト	プリント配布
30	総合学習	各自のテーマに合わせたウォーキング

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ポーズングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ポーズングⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色んなシチュエーションを想定してポーズ表現していく。				
到達目標	プロモデルとして通用するよう技術を身に付ける。事務所所属をし積極的に活動してもらう。				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次の復習	基本ポーズング復習
2	ポーズングアレンジ	基本立ちポーズングでレパトリーついて
3	ポーズングアレンジ	床に座ってのポーズング・靴脱いでも可能・下着注意
4	ポーズング	座ってでのポーズング
5	ポーズング	複数でのポーズングについて
6	ポーズング	物をつかってでのポーズング
7	ポーズング	上着を着た状態でのポーズング
8	ポーズング	物をつかってでのポーズング

9	小テスト	小テスト（基本・バック・着物・小物）
10	Show時のポーズング (TOP・途中)	レパトリー・カウント・服の見せ方・目配り
11	Showの時のポーズング (出ハケ・バッグ有り)	カウント・ターン・ため
12	Showの時のポーズング (出ハケ・バッグ有り)	バック使用してのウォーキング～ポーズング
13	テスト課題発表	ウォーキング～ポーズングのやり方・魅せ方
14	前期テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う
16	前期の復習	前期行った内容の復習
17	基本ポーズング	ポーズングのレパトリーについて
18	基本ポーズング	アクセサリー・ジュエリーの扱い方・見せ方・指先の注意点
19	基本ポーズング	靴、ヒールの見せ方について
20	フォーメーション(1人)	フォーメーションについて
21	フォーメーション(複数形)	フォーメーションについて
22	フォーメーション(生徒考案)	フォーメーションについて
23	巻物を使用したShow形式 ポーズング	ストール・マフラーを使用したShowでの扱い方について
24	小テスト	小テスト（基本・バック・着物・小物）
25	モデルオーデション対策①	各箇所ポーズング&ターンを決めてもらう
26	モデルオーデション対策②	指示したフォーメーションをウォーキング&ポーズングしてもらう
27	モデルオーデション対策③	当日の衣装(短パン&白T)を着用し最終チェック グループ分け発表内容考案
28	フォーメーション・テスト課題発表	グループごとに発表/テストの課題・評価項目発表
29	テスト	テスト
30	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボイストレーニングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボイストレーニングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付けさせる				
到達目標	専門知識、用語まで理解をさせ印象の良い話し方を習得させる				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	発声について	フレージングについて
2	発声について	アクセントについて
3	発声について	強弱について
4	発声について	高低について
5	発声について	スピードについて
6	原稿を読む	原稿について
7	原稿を読む	原稿について
8	原稿を読む	原稿について

9	原稿を読む	原稿について
10	原稿を読む	原稿について
11	フリートーク	フリートークについて
12	フリートーク	フリートークについて
13	フリートーク	フリートークについて
14	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り
16	タイムを取る	タイム設定があるときのトークについて
17	カメラを意識した話し方	カメラがあるときの話し方について
18	カメラを意識した話し方	カメラがあるときの話し方について
19	カメラを意識した話し方	カメラがあるときの話し方について
20	オーディションにむけて	オーディション対策について
21	オーディションにむけて	オーディション対策について
22	オーディションにむけて	オーディション対策について
23	オーディションにむけて	オーディション対策について
24	オーディションにむけて	オーディション対策について
25	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて
26	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて（作成、録音）
27	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて（作成、録音）
28	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて（作成、録音）
29	テスト	テスト
30	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	演技Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	演技Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	脚本（現場）において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする。				
到達目標	己を知り、自己解放から役を作り、役に応じた声や話し方、動作（仕草）で感情を伝える				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	演技について、基本的な学習の説明
2	演技基礎Ⅱ①	発声・滑舌Ⅱ「外郎売」
3	演技基礎Ⅱ②	「外郎売」から
4	演技基礎Ⅱ③	「外郎売」から
5	演技基礎Ⅱ④	「外郎売」から
6	演技基礎Ⅱ⑤	「外郎売」から
7	演技基礎Ⅱ⑥	「外郎売」から
8	演技基礎Ⅱ⑦	落語「貧乏神」から

9	演技基礎Ⅱ⑧	落語「貧乏神」から
10	演技基礎Ⅱ⑨	落語「貧乏神」から
11	演技基礎Ⅱ⑩	落語「貧乏神」から
12	演技基礎Ⅱ⑪	落語「貧乏神」から
13	演技基礎Ⅱ⑫	落語「貧乏神」から
14	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り
16	演技実践	舞台台本を基に役柄、状況設定の認識
17	演技実践	舞台台本を基に役柄、状況設定の認識
18	演技実践	「さとうきび畑の唄」のメイン二人の芝居で複雑な女性心理を演ずる
19	演技実践	「さとうきび畑の唄」のメイン二人の芝居で複雑な女性心理を演ずる
20	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
21	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
22	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
23	自然な演技力	その時代背景をしっかりと理解し、一演目を子供役、教頭役を含め全員での芝居作りをする。
24	自然な演技力	
25	自然な演技力	
26	自然な演技力	
27	自然な演技力	
28	試験題材	テスト題材の発表、練習
29	テスト	テスト
30	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養管理Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる				
到達目標	テスト40%・小テスト30%・授業態度30%				
評価基準	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
認定条件	ダイエット検定2級（任意）				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ダイエット検定の魅力と将来の必要性
2	ダイエットとは	ダイエットの本質について
3	現代ダイエットの基礎知識	メタボリックシンドロームについて
4	体脂肪の基礎	脂肪の特徴や働きについて
5	カロリーと栄養素とダイエット	栄養素の働きについて
6		カロリーを知り体重のコントロールができるようになる
7	代謝とリバウンドの基礎知識	代謝とリバウンドの知識について
8	インスリンとGI値	インスリンの働きとGI値の関係性

9	運動とダイエット方法論	運動によりカロリー消費について学ぶ
10	模擬テスト	成績評価テスト
11	第1章ダイエットと栄養素	栄養素とその働きを学び健康的に体重コントロールができる
12		
13	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割や働きを学ぶ
14	第3章 体脂肪と肥満と疾病のリスク	脂肪の役割やリスクについて学ぶ
15	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の食事選びとホルモンと体重コントロールの関係を学ぶ
16	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自律神経～食欲との付き合い方
17	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
18		筋力トレーニングと基礎代謝の増加～DTIエネルギー消費量比較
19	模擬試験	成績評価
20	総合まとめ	検定2級、1級の振り返り
21	総合まとめと実践	水ぶとりに関する栄養素と内容のグループディスカッションと発表
22	総合まとめと実践	油に関する栄養素と内容のグループディスカッションと発表
23	総合まとめと実践	三大栄養素と基礎食品群の内容のグループディスカッションと発表
24	総合まとめと実践	栄養バランスとカロリーに関する内容のグループディスカッションと発表
25	総合まとめと実践	代謝に関する栄養と運動のグループディスカッションと発表
26	総合まとめと実践	GI値とインスリンに関するグループディスカッションと発表
27	総合まとめと実践	カロリー計算と栄養素のグループディスカッションと発表
28	総合まとめと実践	低GI値とカロリーに関するグループディスカッションと発表
29	総合まとめと実践	神経とダイエットに関するグループディスカッションと発表
30	総合的学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターナショナルコミュニケーション		
必修選択	選択	(学則表記)	インターナショナルコミュニケーション		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようになるねらい				
到達目標	英語を使ってのオーディションを行い、自己紹介や自己アピールを行えるようになる。また、英語を使っての簡単な会話ができるようになる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介、導入	授業ルール、意味合い、達成目標などを共有する
2	簡単な英語レベルチェック	自己紹介、その他自己のレベルを感じさせる & 通じるか通じないかの確認
3	会話力 (初級)	A-Zまでの発音、筆記確認
4	会話力 (初級)	住所の書き方など
5	会話力 (初級)	文章 (会話) の成り立ち基本
6	会話力 (初級)	文章実践
7	会話力 (初級)	数字等必要単語の確認①
8	会話力 (初級)	数字等必要単語の確認②

9	会話力（初級）	まずは簡単な表現や会話にふれ、グループワークなどで英語を使いながら会話をする
10	会話力（初級）	まずは簡単な表現や会話にふれ、グループワークなどで英語を使いながら会話をする
11	会話力（中級）	自分の事を英語を使って紹介、アピールをするための素材や単語を集め文章。
12	会話力（中級）	自分の事を英語を使って紹介、アピールをするための素材や単語を集め文章発音確認
13	会話力（中級）	テスト対策を行う
14	会話力（中級）	テスト
15	総合学習	総まとめを行う
16	コミュニケーション力	夏休み宿題発表&後期からのルール説明
17	コミュニケーション力	リスニングのポイント
18	コミュニケーション力	海外でコミュニケーション法
19	コミュニケーション力	間違えやすい単語、面白単語、略語、文章①
20	コミュニケーション力	間違えやすい単語、面白単語、略語、文章③
21	コミュニケーション力	間違えやすい単語、面白単語、略語、文章②
22	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践①
23	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践②
24	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践③
25	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践④
26	コミュニケーション力	英語での携帯、PCなどの書き方
27	コミュニケーション力	オーディション形式での練習をする
28	テスト対策	テスト対策を行う
29	テスト	テスト
30	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディエクササイズⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディエクササイズⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	ヨガマット、ソフトボール、テニスボール		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り				
到達目標	授業を通じそれぞれが目標とする身体作りの達成				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	現状を知る / 目標の再設定	before写真、計測、目標設定 コンビネーションエクササイズ全身
2	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
3	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
4	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
5	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
6	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
7	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
8	計測 (小テスト)	コンビネーションエクササイズ全身 小テスト

9	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
10	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
11	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
12	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
13	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
14	目標達成確認(テスト)	1、計測 (after写真撮影) 2、コンビネーションエクササイズ 全身
15	総合学習	1、総まとめを行う 2、ドラウタビリティ
16	現状を知る / 目標の再設定	before写真、計測、目標設定 コンビネーションエクササイズ全身
17	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
18	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
19	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
20	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
21	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
22	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
23	計測 (小テスト)	1、計測 (after写真撮影) 2、コンビネーションエクササイズ 全身
24	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
25	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
26	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
27	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
28	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
29	目標達成確認(テスト)	1、計測 (after写真撮影) 2、コンビネーションエクササイズ
30	総合学習	1、総まとめを行う 2、ドラウタビリティ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダンス		
必修選択	選択	(学則表記)	ダンス		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をすること。自分らしく表現・ポージングが出来るようになること。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影III				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	授業を行うにあたり、決まりやルールの確認を行う。また自己紹介などを行う
2	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
3	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
4	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
5	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
6	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
7	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
8	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	セルフプロデュースⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	セルフプロデュースⅡ		
開講					
年次	1年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数	60				
使用教材	世界基準の美を創る ビューティメソッド55		出版社	ポプラ社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。				
到達目標	自分自身を理解し、どのようにこの業界を生きていくかを見つけ出す。				
評価基準	テスト40%、授業態度30%、小テスト30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己確認ゲーム	特徴を知るゲーム
2	確認&面談①	手紙を書く&面談
3	外見的売りを確認 客観視&面談②	自分自身の外見的売りについて
4	PR法（ハーバード大学Method）Ⅰ	PR法について
5	PR法（ハーバード大学Method）Ⅱ	PR法について
6	セルフヒストリー①	個性について
7	セルフヒストリー②	自分の"軸"について
8	ノンバーバルコミュニケーション①	言葉を使わないコミュニケーションとは？

9	ノンバーバルコミュニケーション②	インタビュー実践
10	ノンバーバルコミュニケーション③	インタビュー実践
11	目的を達成する方法①	目的の捉え方について
12	目的達成する方法②	目的の捉え方について
13	目的達成する方法③	目的の捉え方について 実践
14	テスト	
15	総合学習	夏休みに向けての目標/Keep their mindについて
16	夏休み宿題発表	目標について
17	目的を達成する方法④	夏休みの目的達成が出来なかった理由を具体的に細かくマイクログラスコープで見ていく
18	PR法III	PR法について
19	PR法III	PR実践
20	Audition対策①	Auditionに向かい自分ほどの業界を目指すか、何を目的に頑張るかをクリアにする
21	Audition対策②	Audition対策について
22	Audition対策③	Audition対策について
23	Audition対策/反省会	Audition対策について
24	自分の価値観を知る①	Audition対策について
25	自分の価値観を知る②	Audition終了後、みんなで何を感じたか何を得られたか反省会
26	自分の価値観を知る③	自分の価値観について
27	ifの世界①	人生選択法
28	ifの世界②	人生選択法
29	テスト	テスト
30	総合授業	これからの人生へ向けて

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルコーディネートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルコーディネートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	カラーチャート	出版社			

科目の基礎情報②

授業のねらい	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する授業。フェイスシェイプ・ボディプロポーションを生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。				
到達目標	様々なオーディションにて、確実に結果を手に入れられるよう外見を整えていく。				
評価基準	提出物30%、 テスト40%、 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	外見の序章	外見を創る3つの柱について
2	パーソナルカラー	パーソナルカラーについて
3	パーソナルフェイスシェイプ①	フェイスシェイプ、メイク、そしてヘアスタイルの重要性について
4	パーソナルフェイスシェイプ②	
5	パーソナルフェイスシェイプ③	
6	パーソナルプロポーション①	自分のプロポーションを知り、自分自身を美しく魅せる科学的理論
7	パーソナルプロポーション② & スタイリストテクニック	プロポーション復習&スタイリストテクニック
8	パーソナルプロポーション③	等身大の上下によるプロポーション変化、カバーする方法

9	ファッションスタイル①	国際レベル7ファッションスタイルを説明
10	ファッションスタイル②	国際レベル8ファッションスタイルを説明
11	ファッションスタイル③	ファッションスタイルの自己診断&結果
12	ファッションスタイル④	小物による変化
13	ファッションスタイル⑤	自分軸=ファッションスタイルが分かった後のコーディネート法
14	テスト	今まで学んできたカラーやフェイスシェイプ、プロポーション、ファッションスタイルなどを理解できているか確認
15	総合学習	総まとめを行う/夏休み宿題
16	夏休み宿題発表	実際にやってきた宿題をシェア&ディスカッション
17	ファッションスタイルアドバンス①	学校にあるアイテムを使いつつスタイリスト&モデルに分けて実践
18	TPOによる変化	TPOに合わせて
19	Audition対策序章	Auditionに向かい自分はどの業界を目指すか、何を目的に頑張るかをクリアにする
20	Audition対策①	Audition対策①
21	Audition対策②	Audition対策②
22	Audition対策③	Audition対策③
23	Audition対策④	Audition対策④
24	交換会①	3つのパイルについて
25	交換会②	3つのパイルについて
26	交換会③	3つのパイルについて
27	コーディネート発表①	コーディネートアイテムとして使いTPOに合わせて
28	コーディネート発表②	コーディネートアイテムとして使いTPOに合わせて
29	テスト	テストを実施する
30	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影Ⅱ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をすること。自分らしく表現・ポージングが出来るようになること。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	各自自己紹介と授業ルールの共有
2	カウンセリングと目標設定	前週のアンケートをもとにカウンセリング
3	スタジオ撮影	テーマフリー撮影
4	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
5	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPC、プリンターの使い方を学ぶ。
6	スタジオ撮影 宣材写真	宣材写真(全身・バストアップ)の撮影
7	スタジオ撮影	テーマ"クール"で各自の個性を活かした撮影をする。
8	スタジオ撮影	テーマ"マニッシュ(男性的)"で各自の個性を活かした撮影をする。

9	スタジオ撮影 宣材写真	宣材写真（全身・バストアップ）の撮影
10	スタジオ撮影	テーマ"ポップ"で各自の個性を活かした撮影をする。
11	スタジオ撮影	
12	小テスト プリントの仕方	ブック製作のためのPC、プリンターの使い方の習得レベルを試験する。
13	スタジオ撮影 表情撮影	"顔や目の表情"をテーマにバストアップの撮影をする。
14	試験 スタジオ撮影	撮影試験
15	総合学習	試験振り返りと前期振り返り
16	スタジオ撮影	テーマ"ナチュラル"で各自の個性を活かした撮影をする。
17	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
18	ロケ撮影	
19	スタジオ撮影	テーマ"キュート"で各自の個性を活かした撮影をする。
20	スタジオ撮影 宣材写真	各自の個性に合わせたコンポジット写真を撮る。
21	スタジオ撮影 宣材写真	
22	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPC、プリンターの使い方を学ぶ。
23	ブックにまとめる	ブックを分析し、カウンセリングする。
24	スタジオ撮影	テーマ"セクシー"で各自の個性を活かした撮影をする。
25	スタジオ撮影	身体の"動き"を活かした撮影をする。
26	スタジオ撮影	テーマ"マニッシュ（男性的）"で撮影をする。
27	スタジオ撮影 表情撮影	"顔や目の表情"をテーマにバストアップの撮影をする。
28	小テスト プリントの仕方	ブック製作のためのPC、プリンターの使い方の習得レベルを試験する。
29	試験 スタジオ撮影	撮影試験
30	総合学習	試験振り返りと年間振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をすること。自分らしく表現・ポージングが出来るようになること。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	各自自己紹介と授業ルールの共有
2	カウンセリングと目標設定	前週のアンケートをもとにカウンセリング
3	スタジオ撮影	テーマフリー撮影
4	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
5	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPC、プリンターの使い方を学ぶ。
6	スタジオ撮影 宣材写真	宣材写真(全身・バストアップ)の撮影
7	スタジオ撮影	テーマ"クール"で各自の個性を活かした撮影をする。
8	スタジオ撮影	テーマ"マニッシュ(男性的)"で各自の個性を活かした撮影をする。

9	スタジオ撮影 宣材写真	宣材写真（全身・バストアップ）の撮影
10	スタジオ撮影	テーマ"ポップ"で各自の個性を活かした撮影をする。
11	スタジオ撮影	
12	小テスト プリントの仕方	ブック製作のためのPC、プリンターの使い方の習得レベルを試験する。
13	スタジオ撮影 表情撮影	"顔や目の表情"をテーマにバストアップの撮影をする。
14	試験 スタジオ撮影	撮影試験
15	総合学習	試験振り返りと前期振り返り
16	スタジオ撮影	テーマ"ナチュラル"で各自の個性を活かした撮影をする。
17	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
18	ロケ撮影	
19	スタジオ撮影	テーマ"キュート"で各自の個性を活かした撮影をする。
20	スタジオ撮影 宣材写真	各自の個性に合わせたコンポジット写真を撮る。
21	スタジオ撮影 宣材写真	
22	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPC、プリンターの使い方を学ぶ。
23	ブックにまとめる	ブックを分析し、カウンセリングする。
24	スタジオ撮影	テーマ"セクシー"で各自の個性を活かした撮影をする。
25	スタジオ撮影	身体の"動き"を活かした撮影をする。
26	スタジオ撮影	テーマ"マニッシュ（男性的）"で撮影をする。
27	スタジオ撮影 表情撮影	"顔や目の表情"をテーマにバストアップの撮影をする。
28	小テスト プリントの仕方	ブック製作のためのPC、プリンターの使い方の習得レベルを試験する。
29	試験 スタジオ撮影	撮影試験
30	総合学習	試験振り返りと年間振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	メンタリティーメイキングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	メンタリティーメイキングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法		出版社	We Net ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデル（芸能界にむけて）のメンタルの確立とトータルピーアールのプロを目指す				
到達目標	ONLY ONEの素質を自らがつかみ あらゆるピーアールテクニックを身につける				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自分プロデュース ①	一年復習と今後のディレクション
2	自分プロデュース ①	一年復習と今後のディレクション
3	カメラ・アイ	カメラ・アイについて
4	自分（心）と対話	マインドコントロールについて
5	自分プロデュース ②	自分の将来について
6	自分プロデュース ②	メンタルと外見の関係性とメンタルトレーニング実践
7	ギャップ	ギャップについて
8	ギャップ攻略法とコンプレックス	ギャップ攻略法実践

9	アサーション①	意識改革&美意識トレーニング実践
10	アサーション②	ネガティブシンキング&ポジティブシンキングを考える
11	アサーション③	柔軟な耳と脳内改革で内面、外面を美表現できる
12	自分プロデュース ③	これまでの知識を振り返り自己PRレベルアップ
13	テスト：合同オーディション	合同模擬オーディション実施
14	テスト振り返り	オーディション結果を振り返り、個々実力の再確認と具体的な改善点を認知する
15	総合学習	総まとめを行う
16	前期の復習	前期の振り返り
17	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
18	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
19	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
20	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
21	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
22	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
23	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
24	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
25	(合同)模擬オーディション①	モデルオーディションに向けてトレーニング
26	振り返り	方向性と課題を決定
27	(合同)模擬オーディション②	モデルオーディションに向けて最終チェック
28	振り返り最終チェック	モデルオーディションに向けて総仕上げ
29	テスト	テスト
30	総合学習	1年間の振り返りを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク（トータルビューティアー）		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワーク（トータルビューティアー）		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティアー科	2	60
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー（教員用のみ） 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60％ 授業態度：10％ 提出物：20％ レポート：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
4	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
5	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
6	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認

7	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	サロンワーク技術練習	<p>対応方法など様々な視点からチェックしていく</p> <p>基本的には外部の方法をお客様として招き、 サロンを運営する</p> <p>接客などの理解を確認するために、テストも実施 金銭授受の目標を立て実践する</p>
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習	
13	サロンワーク技術練習・小テスト	
14	サロンワーク技術練習	
15	サロンワーク技術練習	
16	サロンワーク技術練習	
17	サロンワーク技術練習・テスト	
18	サロンワーク技術練習	
19	振り返り	
20	総合授業	総まとめを行う
21	サロンワーク技術練習	<p>様々なシチュエーションや施術内容を設定し、 サロンワークとしての技術・接客を行う</p> <p>施術時間・道具の管理・接客対応・言葉遣い・ イレギュラーな対応方法など様々な視点からチェックしていく</p> <p>基本的には外部の方法をお客様として招き、 サロンを運営する</p> <p>接客などの理解を確認するために、テストも実施</p>
22	サロンワーク技術練習	
23	サロンワーク技術練習	
24	サロンワーク技術練習	
25	サロンワーク技術練習・小テスト	
26	サロンワーク技術練習	
27	サロンワーク技術練習	
28	サロンワーク技術練習	
29	振り返り	
30	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマテラピー総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系

5		カラダをつくる食事
6		バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7		腸を整えよう
8	カラダの内側から整える	カラダをあたためよう・腸活と温活
9	Lesson1 カラダをつくる食事	
10		食事とアンチエイジング
11		オイルとエイジングケア・レシピ紹介
12		テストを実施する
13	カラダの内側から整える	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14	Lesson2 カラダを休める睡眠	質のよい睡眠の条件
15	総合授業	総まとめを行う
16	カラダの内側から整える	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
17	Lesson3 カラダを巡らせる運動	運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
18	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは？ストレスと上手に付き合うには
19		ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
20		
21	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる	肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)
22		美しいカラダを保つためのボディケア
23		スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
24	総合まとめ	テストを実施する
25	カラダの外側から整える Lesson2	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
26	ヘアケアで美しい髪	
27	毎日の心がけで ナチュラルビューティー	Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践
28		Lesson2 五感に心地よいライフスタイル
29	総合まとめ	ナチュラルビューティースタ일리スト検定 模試
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共に パラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	ネイルケア・カラー・アート	
5	2級ケア・アート練習	2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する
6	チップラップ実技	
7	チップラップ実技	
8	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	2級実技タイムトライアル	
10	ペディキュア・ フットトリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
11	ペディキュア	
12	ペディキュア	
13	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験を行う

14	実技試験（2級と同じ内容） 筆記テスト	実技試験・筆記試験を行う
15	総合授業	総まとめを行う
16	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を 復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
17	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
18	2級検定練習	
19	教材の説明エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
20	エンボスアート	
21	3Dアート	
22	エンボスアート 3Dアート	
23	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う 2級の再受験者がいる場合は検定練習
24	ミックスメディアアート	
25	ミックスメディアアート	
26	実技試験	実技試験を行う
27	筆記試験	筆記試験を行う
28	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
29	卒業制作	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェル		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェル		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	4
時間数					60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期：宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル教材の名称及び説明 ジェルネイル講義 デモ(クリア・カラー) オフの仕方	教材説明 UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ
2	初級検定説明・デモ 初級検定DVD	
3	クリアカラー実技	初級検定内容を学び・技術をマスターする
4	初級検定実技	
5	ジェル初級検定実技	
6	ジェル初級検定実技	

7	初級検定実技 (タイムトライアル)	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	初級検定実技 (タイムトライアル)	
9	実技テスト(初級検定内容)	
10	実技テスト(初級検定内容) 筆記テスト	
11	2級対応ケア練習 (ラウンド/プッシャーニッパー強化)	ファイリングやニッパーのハンドリングを 改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12	2級検定実技 (チップラップ・ケア・カラーアート)	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
13	2級検定実技 (チップラップ・ケア・カラーアート)	
14	2級検定実技 (チップラップ・ケア・カラーアート)	
15	総合授業	これまでの総まとめを行う
16	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を 復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
17	2級検定実技 (タイムトライアル)	タイム取りをして検定実技の練習を行う
18	2級検定実技 (タイムトライアル)	
19	筆記テスト 2級検定実技	
20	2級検定練習	2級検定へ向けての 総仕上げ練習

21	フレンチ・グラデーション デモ・実技	色々なジェルの技法やアートを学ぶ
22	フレンチ・グラデーション・実技	
23	フレンチ・グラデーション実技	
24	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ ジェルオフ デモ・実技	
25	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技	
26	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技	
27	ジェルアート	
28	実技テスト	
29	実技テスト	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)
7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)

10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う
16	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
17	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
18	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
19	和装スタイル④	和装シーン、テーマに合わせて和装(テスト)
20	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
21	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
22	パーティースタイル③	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
23	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
24	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
25	アレンジスタイル③	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
26	アレンジスタイル④	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
27	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
28	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
29	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイク		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス、問題集		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンを持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする。

9	スチールメイク②	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
10	スチールメイク③	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う
16	イメージチェンジ①	イメージチェンジ(実践)
17	イメージチェンジ②	イメージチェンジ(実践)
18	イメージチェンジ③	イメージチェンジ(実践)
19	パーティーメイク①	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
20	パーティーメイク②	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
21	成人式メイク①	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
22	成人式メイク②	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
23	クイックチェンジメイク①	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
24	クイックチェンジメイク②	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする
25	クイックチェンジメイク③	テスト、振り返り
26	卒業制作①	卒業制作作用のデッサン画、メイク練習
27	卒業制作②	メイク練習
28	卒業制作③	卒業制作作用のデッサン画、メイク
29	卒業制作④	撮影、振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ			
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60	
使用教材	症状別ヨガ&ピラティスの教科書 (参考図書：これ1冊できちんとわかるヨガ・これ1冊できちんとわかるピラティス)		出版社	つちや書店 (参考図書：株式会社マイナビ)		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る				
到達目標	美しい姿勢をアドバイスできるようになる ヨガの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる ピラティスの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ヨガ指導者とは	ヨガとは/チャクラとは/瞑想とは
2	太陽礼拝	太陽礼拝にチャレンジ
3	ヨガポーズ①	座位2種目/運動生理学①(呼吸)
4	ヨガポーズ②	座位2種目/運動生理学②(自律神経)
5	ヨガポーズ③	四つ這い2種目/座位の復習/運動生理学(まとめ)
6	テスト①	理解度の確認

7	ヨガポーズ④	立位3種目/運動生理学③ (脳)
8	ヨガポーズ⑤	背臥位1種目/座位の復習/運動生理学④ (心臓・肺)
9	ヨガポーズ⑥	座位・四つ這い・立位・背臥位の復習/運動生理学 (まとめ)
10	ヨガポーズ⑦	仰臥位2種目/運動生理学⑤ (内臓)
11	ヨガポーズ⑧	仰臥位2種目/運動生理学⑥ (骨格・筋)
12	ヨガポーズ⑨	全種目の復習/レッスンの流れ確認/運動生理学 (まとめ)
13	テスト②	理解度の確認
14	ヨガ応用	プログラミング
15	総合授業	総まとめを行う
16	ピラティスとは	ピラティスの歴史/機能解剖学① (骨格)
17	ピラティスレッスン導入の指導	インフォメーション/セルフチェック/機能解剖学② (関節)
18	ファンダメンタルの指導①	4種目
19	ファンダメンタルの指導②	3種目
20	ピラティスエクササイズ①	2種目
21	ピラティスエクササイズ②	2種目/機能解剖学③ (脊柱の動きと筋肉)
22	ピラティスエクササイズ③	2種目/機能解剖学④ (骨盤の動きと筋肉)
23	ピラティスエクササイズ④	2種目/機能解剖学 (まとめ)
24	ピラティスエクササイズ⑤	2種目/機能解剖学⑤ (股関節の動きと筋肉)
25	ピラティスエクササイズ⑥	2種目/機能解剖学⑥ (肩甲骨の動きと筋肉)
26	ピラティスエクササイズ⑦	1種目/復習/機能解剖学 (まとめ)
27	テスト	理解度の確認
28	ピラティスエクササイズ応用	プログラミング・立位バランス・椅子の座り方・ウォーキング
29	ピラティスエクササイズ応用	姿勢評価・美姿勢アドバイス
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックス		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックス		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	専門医が教えるデトックス入門 ※学校教材※ 酵素ドリンク・ハーブティー (各校判断)		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ、エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について解説 各々が考える「デトックス」とは
2	導入 デトックスとは	生活習慣のチェックし自身の生活習慣を振り返る 生活の中にありふれている沢山の毒について学ぶ
3	体の毒とアンチエイジングの基礎知識	生活の中に溢れている毒を学ぶ
4		避けられない毒、酸化について学ぶ
5	【デトックス基礎編】 避けられない毒とは	糖化について学ぶ
6	酸化 糖化 炎症 老化のサインは糖尿病になって現れる	炎症について学ぶ
7		毒の悪循環と糖尿病について学ぶ

8	グループワーク	化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとにまとめ
	個人ワーク	化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症について個人ごとにまとめ
9	テスト	化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとに発表
		化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症のレポートを共有、復習する
10	老化とアンチエイジング	老化とは何か アンチエイジングとは何かを学ぶ
11		アンチエイジングとは何か学ぶ② アンチエイジングの取り入れ方を学ぶ
12	テスト	理解度の確認
13	デトックスの仕組みや方法	代謝について学ぶ
14		各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、アロマ、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど）
15	総合授業	前期 総まとめを行う
16	【デトックス実践編】 今日からできるデトックス 引き算するデトックスについて	身体のデトックスの仕組みを学ぶ
17		過剰毒について学ぶ
18		デトックス効果（全身）について学ぶ
19		酸化予防について学ぶ
20		糖化予防について学ぶ
21		炎症の予防について学ぶ①
22		
23		ファスティングについて学ぶ ※酵素ドリンク試飲
24		水素ケアや水素療法について学ぶ
25		まとめ
26	テスト	理解度の確認
27	デトックスの方法	デトックスに効果的な反射区やデトックス技術を知る
28		各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど）・ハーブティー試飲

29	テスト	ペアに合った具体的なデトックス方法のアドバイスをデモで発表
		自分合った具体的なデトックス方法のアドバイスのレポート作成
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学			
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60	
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト			出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	デトックス・生理学Ⅰ・Ⅱ・栄養学Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることの意義 (P21~26)、自己分析 第2章 Q1~Q5について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6~Q10
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11~Q15
4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16~Q20
5		第5章 Q21~Q25
6	模擬試験①	模擬試験を行う 第2章~第5章
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26~Q31
8	インスリンとGI値	第7章 Q32~Q34

9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35～Q40
10	模擬テスト	模擬試験を行う
11	模試解説	模擬試験の解説
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFCバランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について
14		ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズム
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的な使用方法
16	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保険指導について 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞
17	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義～同化・異化のシステムコントロール
18	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自律神経～食欲との付き合い方
19	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
20		筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較
21	模擬試験	模擬試験を行う
22	模試解説	模擬試験の解説
23	第6章 運動と筋肉と代謝（補足）	運動実践
24	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返り
25	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成
26	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成
27	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
28	相手に合ったダイエット方法を提案しカウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
29	相手に合ったダイエット方法を提案しカウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
30	総合授業	総合まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅢ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマテラピー検定対策 アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマテラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマテラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%(後期は10%) / 授業態度、提出物など20% (後期は10%) / (後期) アロマ検定1級合格否20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマテラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク(トータルビューティー)・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	振り返り
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (サイプレス・ジャーマンカモミール)
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ジャスミン・パチュリ)
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ブラックペッパー・ペチパー)
5	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ベンゾイン・ミルラ)
6	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (メリッサ・ローズオットー)
7	総合まとめ	アロマ検定プレテスト

8	精油紹介①	トリートメント用 ブレンドオイル作り
9	精油紹介②	シアバタークリーム作り(バーム)
10		
11	精油紹介③	ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)
12		
13	精油紹介④	手作りせっけん・MPソープ
14		
15	総合授業	総合授業を行う
16	精油紹介⑤	練香水作り
17		練香水作り
18	アロマ1級試験復習 模擬試験	模擬試験を行う
19	ナチュラルビューティーに関わる植物	覚えておきたい植物の有効成分・植物(アサイー・ウコン・温州みかん)
20		植物(エルダーフラワー・甘草・クコ)
21		植物(クローブ・月桃・ごぼう)
22		植物(サフラン・しょうが・すぎな)
23		植物(セージ・タイム・チャ)
24		植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)
25		植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)
26		植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)
27		総合復習
28		筆記試験
29	模擬試験	模擬試験を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ クリエーン化粧品セット・タオル類・消耗品類 筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャル・認定ボディ				
関連科目	エステティックカウンセリングⅠ・エステティックカウンセリングⅡ・エステティックカウンセリングⅢ、 フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論 皮膚学	トリートメントの目的 皮膚の構造
3	ディーブクレンジング復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディーブクレンジング 吸引	スチーマーの使用方法・キッシング手順 理論含む

5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
6	ディープクレンジング ブラシ	ブラシの使用法 デモ・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
8	総合技術 吸引・ブラシ	テスト
9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはデイスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合 コンサルテーションシート	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12		テスト 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモスト・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う
16	ボディ技術理論 生理解剖学	総合理論
17	マッサージ復習 コンサルテーションシート	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
18		復習
19		デモスト・手技・拭き取り
20	下肢前面	相モデル練習
21		テスト
22	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
23		通し練習
24	導入アロマとは アロマセラピーのある暮らし精油のプロ フィール	香りのイメージ 安全の為に注意/イランイラン

25		精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュンパーベリー
26		芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
27	アロマトリートメント(全身)	全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
28		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
29		テスト
30	総合授業	総まとめを行う